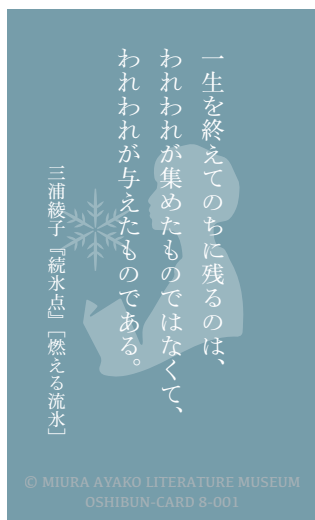


“おぶん 押し文カード” の作成と配布をご支援くださいますか？

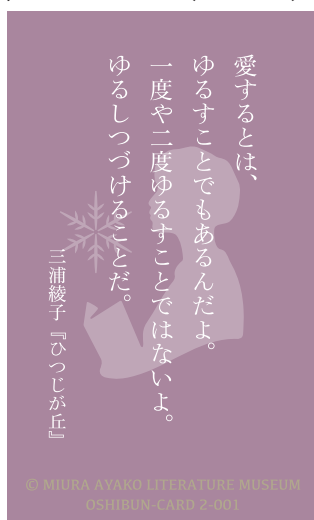
「おぶん 押し文カード」とは、
三浦綾子作品を伝えるためのアイテムです。
見本を添付しましたので、袋から出して、
手ににとってご覧ください。

没後から25年が経ち、綾子さんの名前も作品も
知らない方が増えています。1人でも多くの方に
伝えるため、作品の文章を記したカードを作成
して広めたいと願っています。
あなたもこの活動をご支援くださいますか？

〈うら面 例（番号8）〉



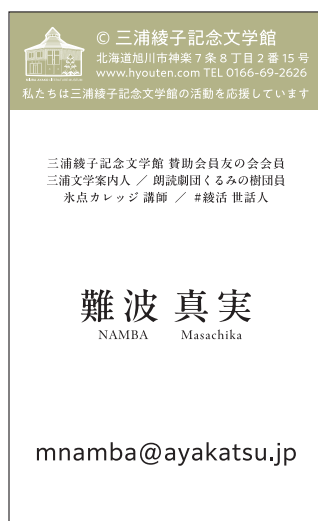
〈うら面 例（番号2）〉



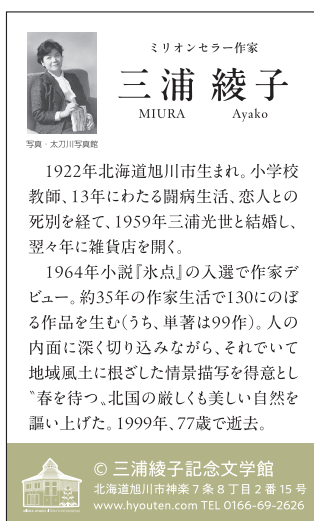
別紙に、作品と文章の一覧表
を掲載しました。お好きな文
章を選んでいただけます。
一覧表にない作品や文章でも
お作りできますので、お気兼
ねなくお申し付けください。

背景の色については、
こちらにおまかせください。

〈おもて面 名刺作成の例〉



〈おもて面 綾子さん〉



〈おもて面 無地〉



※これらとは別に、協賛広告向けのカードもご用意しております。詳細はお問い合わせください。

お ぶん 推し文カード 作成お申し込み

お名前とご連絡先	会員番号（賛助会員の方）： お名前： お届け先ご住所： 〒 ー
	お電話番号：
うら面の番号 （別紙一覧表からお選びください） ※一覧表以外の作品と文章も作成可能です	番号： 作品名：
おもて面（○印をおつけください）	名刺作成 ・ 綾子さん ・ 無地
作成枚数（○印をおつけください）	100 枚 ・ 200 枚 ・ 300 枚
※名刺作成の方のみ 記載する情報をご記入ください ※色は、スミ（黒）1 色のみです	※綾子さんおよび無地をお選びの方は、記入不要です
通信欄（ご連絡事項など、ご自由に）	

お申し込みは、下記のいずれかの方法で三浦綾子記念文学館事務局をお願いいたします
 メール toiawase@hyouten.com FAX 0166-69-2611 LINE 
 郵便 〒 070-8007 北海道旭川市神楽 7 条 8 丁目 2 番 15 号

作成枚数	ご支援額（税込、作成料込、著作使用料込、送料込）		
	名刺作成	綾子さん	無 地
100 枚	3,600 円	3,000 円	2,100 円
200 枚	4,500 円	3,450 円	2,400 円
300 枚	5,400 円	3,900 円	2,700 円

※すべて前払いです。現金、銀行振込、クレジットカードのいずれかでご入金ください（館内では現金のみ）。

おぶん 推し文カード うら面 作品と文章の一覧〈1 - 30〉

番号	作品名と文章
1	『氷点』 風は全くない。東の空に入道雲が、高く陽に輝やいて、……
2	『ひつじが丘』 愛するとは、ゆるすことでもあるんだよ。一度や二度ではないよ……
3	『塩狩峠』 汽車はいま、塩狩峠の頂上に近づいていた。……
4	『雨はあした晴れるだろう』 ころんだら起き上がればいいんだ。……
5	『道ありき』 綾ちゃん、人間はね、一人一人に与えられた道があるんですよ。
6	『積木の箱』 ……夢を持ちつつ生きることが尊いと思うわ。
7	『この土の器をも』 病む吾の手を握りつつ眠る夫眠れる顔も優しと思ふ
8	『続氷点』 一生を終えてのちに残るのは、われわれが集めたものではなく、……
9	『細川ガラシャ夫人』 人間には本来尊い心がある。……この心を大切に……
10	『天北原野』 利尻岳にかかった雲が、夕光にいよいよ茜に映えて、……
11	『石の森』 こんなにもたくさんの涙が、一体、体のどこにひそんで……
12	『泥流地帯』 目に見えるものが問題じゃねえ。目に見えないものが大切じゃ。
13	『果て遠き丘』 そうね、ともに希望を語るって、すごく大事なことね。
14	『続泥流地帯』 自分の人生に、何の報いもない難儀な三年間を持つということは……
15	『海嶺』 父っさま一つ、母さま一つ、久吉はここに生きているでな一つ。
16	『嵐吹く時も』 文治は青い沖の彼方に目をやった。(この海の向うに……
17	『銃口』 竜太、苦しくても人間として生きるんだぞ。人間としての良心……
18	『母』 闇があるから光があるんだ。
19	『国を愛する心』 私は核兵器はもちろん、拳をもって殺すことにも反対する。
20	『一日の苦労は、その日だけで十分です』 本当に人を最も大切にする……
21	『道ありき』 道は幾つもある。生きようとする時、必ず道はひらけるのだ。
22	『泥流地帯』 頑張って勉強し給えよ。人間の一番の勉強は、困難を乗り越えることだ。
23	『泥流地帯』 もう一度生れ変わったとしても、おれはやっぱりまじめに生きるつもりだぞ。
24	『続泥流地帯』 苦労の多い道を歩いてみるのも、俺たち若い者のひとつの生き方……
25	『続泥流地帯』 人間はな、景色でも友だちでも、懐かしいものを持っていなければ……
26	『道ありき』 本当に人を愛するということは、その人が一人でいても、生きて……
27	『果て遠き丘』 待つということは、明日を信ずることであり、明日に望みをもって……
28	『小さな郵便車』 心の底からにっこり笑えば、相手もそのあたたかさを感じて、……
29	『天の梯子』 人のために祈ることは、喜びも悲しみも、共にすることだといえるであろう。
30	『石ころのうた』 石ころのわたしの青春は、何と愚かで軽薄で、しかし一途で……

※上記の作品や文章以外でも、ご要望に応じて作成いたします

おぶん 押し文カード うら面 作品と文章の一覧〈31 - 60〉

番号	作品名と文章
31	『道ありき』 人の愛を受けるのに必要なのは、素直に感謝して受けるということ……
32	『積木の箱』 光って演出家ね。人間も光があたるかあたらないかであんなにも……
33	『道ありき』 洗礼を受けたその日から、わたしはうれしくてうれしくて……
34	『泥流地帯』 見えんでもええ。真心は届くべ。誰にも見えん所でも、真心こめて……
35	『母』 故郷を思う歌は力になります。
36	『母』 自分の生まれ育った土地ってものは、こりゃ何とも愛しいもんだ。
37	『母』 昔から禍福はあざなえる縄の如しと言ってな、人生ってもんは、禍いと幸福……
38	『母』 お前は優しい心だな。その心が何よりの宝だなあ。
39	『母』 世の中の者全部が、自分は人間だ、という誇りを持たなければならん。
40	『母』 人間には、していいことと悪いことがあると、みんながわかった時、本当の……
41	『母』 不幸を生きぬく時、人間は幸せになる。不幸に押しつぶされていてはならんのだ。
42	『孤独のとなり』 心をひらいて人に近づくのは、人間としての基本的なあり方である。
43	『ごめんなさいといえる』 人間って「ごめんなさい」と神様にも人にもいえる、……
44	『泉への招待』 聖書が、私になくてならぬものとなって、初めて私の生きる目標は……
45	『小さな郵便車』 愛とは、なすべきことをなす意志なのです。
46	『続氷点』 ほうたいを巻いてやれないのなら、他人の傷にふれてはならない。
47	『愛すること信ずること』 どんな小さな会話だって、やはりその人間の人格に咲いた……
48	『ナナカマドの街から』 平和とは、あらゆるものを生かすことであり、あらゆる命を……
49	『太陽はいつも雲の上に』 傷は、一生懸命に、真実に生きたことのしるしだ。
50	『続氷点』 何度も手をかけることだ。そこに愛情が生まれるのだよ。……
51	『藍色の便箋』 人間には、なくてはならない存在とされることが、いちばん……
52	『泉への招待』 言葉は生きものなのだ。心に蒔かれた言葉は、どんな形かに成長する……
53	『明日のあなたへ』 「愛を追い求める」とは、人を愛する自分でありたいと願うことで……
54	『新しき鍵』 孤独の影が深い人こそ、人生を深く生きているといえることもあるのです。
55	『自我の構図』 終わったと思う時点から、始まるということが人生にはある。
56	『ひつじが丘』 人はいつ、どこで、自分の生活を断ちきられても、その断面は……
57	『孤独のとなり』 朝起きた瞬間、わたしたちは、人生の教科書がまた一枚めくられた……
58	『孤独のとなり』 「人間とは何か」を知ることが、相手を知り、自分を知ることになる……
59	『塩狩峠』 人間にはどの人の心がいいか悪いか、ほんとうの話は見当がつかないん……
60	『光あるうちに』 にんべんに動くと書く。人のために動くこと、それが動くという……

※上記の作品や文章以外でも、ご要望に応じて作成いたします